

### 国歌斉唱「君が代」 ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」 ロータリーの目的 四つのテスト唱和

ロータリー情報副委員長 中原喜範君



### 会長挨拶

佐藤修朗 会長

皆様、こんにちは。今日の役員理事会では前月の承認事項の確認、2・3月プログラムの件、JTBの堀内さんが退会され新任の鳩石幸一さんについての件、移動例会として大ゴッホ展を鑑賞するという事を承認頂きました。90周年の神山実行委員長からも、他クラブへのPRのキャラバンをしなければというお話があり、着々と進めております。記念事業としての図書贈呈など順繰り進めて行きたいと思っています。「留学生は先生」の事業も薫小学校でソヌさんにやって頂くことになっております。



### 奨学金贈呈・米山奨学生挨拶

ラウト ソヌ様

私はRCにお世話になる前は、みんなの前で話すことは出来ませんでした。今はみんなの前で発表することが好きになり、自分が分かっている言葉を伝えることができます。それはRCから学んだことです。心から感謝します。



### 幹事報告

幕田宙晃 幹事

当クラブ2月12日は14日のIMに振替のため休会、2月26日はロータリー創立記念日例会のため夜の例会となります。3月19日は移動例会として「大ゴッホ展 夜のカフェテラス」の鑑賞をしに福島県立美術館に行きたいと思っております。



### 親睦活動委員会報告

山口 仁 委員長

#### 2月誕生日祝い

4日/橋本 勝君 8日/堀川紀房君  
11日/鈴木正晃君 14日/本名善兵衛君 24日/大木勝浩君  
25日/阿部充宏君 27日/福島佳之君

#### 2月結婚記念日祝い

12日/高岡俊之君、小林志郎君 25日/池田惣一君

親睦旅行は2月19日が二次締切になっておりますので、期日までにお申し込み下さい。親睦麻雀大会が3月29日(日)の13時から王庁、懇親会をな美らで行います。第3回親睦ゴルフコンペを4月13日(月)にグランディ那須白河ゴルフクラブ、第4回は5月31日(日)に矢吹ゴルフ倶楽部で開催します。多くの方のご参加をお願いします。



### プログラム委員会報告

平栗俊昭 委員長

本日は会員卓話で(株)ケイビの大山勇起さんより頂きます。来週はIMのため14日に変更になります。19日はゲスト卓話で陸上自衛隊第6高射特科大隊長兼ねて郡山駐屯地司令の井垣健司様より頂戴します。26日はロータリー創立記念日例会です。



### ロータリー情報委員会報告

橋本 勝 委員長

1月29日に郡山RCホームミーティングを開催しました。対象人数は12名でしたが、5名の参加を頂きました。講師の神山バスター会長からロータリーの歴史のお話を頂き、17年目の私も大変勉強になりました。6月中旬ぐらいに第2回ホームミーティングを開催しますので、まだの方は参加を宜しくお願いします。



### ニコニコBOX委員会報告

安藤 昇 委員

◎大山さん、卓話ありがとうございます。佐藤修朗君  
◎本日も例会に多くのメンバーにご参加頂き、ありがとうございます。大山さんの卓話を楽しみにしております。幕田宙晃君  
◎大山さんの卓話を楽しみにしております。



有賀隆宏君、遠藤友紀晴君、前田泰彦君、橋本 勝君  
高橋裕一君、佐藤 聡君、小田修史君、伊野泰司君  
青木 誠君、石井祐一君

◎記念日のお祝い、ありがとうございます。大山さん、卓話楽しみです!

◎誕生祝い、ありがとうございます。 小林志郎君  
◎本日も楽しく! 鈴木正晃君  
◎今日も元気で出席です。 高橋孝行君  
林 誠君

### 国際RC第2530地区米山記念奨学会報告

菅野秀士 委員長

今年も米山奨学生の世話クラブとカウンセラーが決まりました。当クラブも理事会を通して返事を頂ければご紹介したいと思います。10日に薫小学校で「留学生は先生」の事業を行います。



### 米山記念奨学会報告

阿部充宏 委員長

皆さん、少しでもいいので寄付を宜しくお願いします。



### プログラム紹介

佐藤 聡 職業奉仕委員長

本日は(株)ケイビ専務取締役の大山勇起さんをお願いしております。大山さんの会社のHPを確認しましたら、職業奉仕そのものが載っていましたので見て頂ければと思います。宜しくお願いします。



### 会員卓話

「職業奉仕 私の想い」

(株)ケイビ 専務取締役 大山勇起君

私は6歳頃に車に轢かれる事故に遭いました。当時、父親が車で出かけて行く時に後を追いかけてたんです。その時に車で買い物に行っていた母親が戻って来て、駐車場で父親が母親に道を譲ろうと急にバックし

て来たんです。恐らく後ろを見ていなかった  
 ようで、恥ずかしながら父親の車に轢かれま  
 した。気づいたら車の下敷きになっていて、  
 車の下の部分を見上げている状態です。そ  
 こから両親を含め周りにいた大人の方たち  
 は騒ぎ始めるわ、救急車は来るわ、いきなり  
 担架に乗せられ病院に運ばれるわ、てんやわんやでした。お陰様で脚と  
 腕を轢かれただけで特に重傷を負う事もなく、無事にすんだのは不幸  
 中の幸いだったと思っております。時が過ぎて中学生になった頃に、こ  
 の事故のことをよく思い出すようになりました。事故について客観的に  
 捉えられるような年齢になっていたの、あれは何だったのかなと思案  
 にふけるわけです。特に中学生ぐらいの年齢は思春期特有の「自我とは  
 何か」「命とは」とか、色々考える年頃だとは思いますが、私の場合は  
 そういったものと自分の事故の体験を結び付けて考えるようになってい  
 ました。あの自動車事故は自分にとってどういう意味を持つのかとか、  
 死ななかったのは何故なのかなとか、そういったことをグルグルと考え  
 ていました。死は遠くにあるものではなく、思ったより近くにあるもの  
 なんだなと考えるとゾクッとしたのを今でも覚えています。それから  
 徐々に、あの事故で死ななかったのは何故なのかな、あの事故で死ぬべ  
 きではなかったとしたら拾った命で何かできることが自分にはあるん  
 じゃないか、そういう風に考えるようになってきました。具体的に何を  
 すればというのは分からなかったんですが、ただ社会に対してプラスに  
 なるようなことができれば、この拾った命にも何か価値は出るんじや  
 ないか、この世に生きた意味があるんじやないか、そう漠然と考えるよ  
 うになりました。それから自分自身として何か物事を決める時や決断が  
 求められる時は、それが社会に対してプラスの価値を与えるのかどうか  
 という価値観で判断して行くようになりました。学生の時に将来どう  
 いった職業に就きたいのか、自分はどうなりたいたいのか、大学生の就職活  
 動の際にどういった企業を志望するのか、そしてどの企業に就職をする  
 のか、そういったことを考えるわけです。前職を辞めて郡山に戻って来  
 ることを決めた時も、そういった価値観に照らして自分なりに判断して  
 来ました。高校・大学生の頃は特に将来のことについて考えたり思いを  
 馳せることが多いかと思いますが、その頃の私は将来は地域・社会ひい  
 ては日本という国にとって必要なものを供給できるような、足りないも  
 のを埋められるような仕事がしたいという思いを持っておりました。  
 エネルギーとか資源、海外での権益の確保とか、日本製の物を海外へ  
 輸出して外貨を獲得するとか、そういう仕事に憧れを抱くようになりま  
 した。理想としていた仕事とは若干仕事内容は違いますが、志望してい  
 た専門商社の一つに無事就職することができましたので、そこでは石油  
 精製のプラントや石油化学プラントといった日本のエネルギーを支える  
 ビジネスに携わり、海外に駐在して日本製の最先端の半導体製造装置  
 とか、高品質の産業用ロボットをタイを中心とした東南アジアのマー  
 ケットに販売するといった、外貨を稼ぐ仕事ができただけは非常に幸運で  
 した。社会に対してプラスの価値を与えるかどうかという価値観、今で  
 も私にとって大きな考え方の拠り所です。



らふと自分の中で何かが結びつきました。これって自分が大切にしてき  
 た価値観、社会に対してプラスの価値を与える、これと同じような意味  
 合いなんじゃないかと思ったわけです。もちろん職業奉仕という言葉の  
 定義やその意味するところも調べましたし、広辞苑によると「職業とは  
 生計を維持するために日常的に従事する仕事」「奉仕とは利益や報酬を  
 求めないで他人や社会のために無償で行う行為や態度」と定義されてお  
 りました。私的には、「職業奉仕というのは職業や仕事を通して社会に  
 対してプラスの価値を与えること」と、自分なりに解釈するのが一番しっ  
 くりくるなと思っております。このテーマを通して感じたのは、職業奉  
 仕という哲学が私自身が持っていた価値観を裏付けてくれている、支え  
 てくれているような感じがして、自分の考えの拠り所に更に自信が持て  
 るようになりました。人は働いてお金を稼いで生きていかなければなら  
 ないと思います。ですが、ただお金を稼ぐだけとか、お金のみを追い求  
 めてしまうと、社会にとって良くないことに手を染めていく人も出て来  
 るのも否定はできないと思います。ですからロータリーで掲げる職業奉  
 仕といった組織哲学というものは、やはり社会を良くしていくためには  
 本当に必要な欠けからざる考えなんだろうなと考えております。そし  
 てこの哲学を持ったRCというの、社会にとって非常に極めて大切な  
 存在なんじゃないかなという風に、私はそこに思いが至りました。より  
 良い社会を残していくためにも、RCの輪をもっともっと社会に広げて、  
 職業奉仕という哲学を更に広めていくということが、今までもそしてこ  
 れからもやはり大事なことなんじゃないかなということに思いが至り、  
 今後は多少無理をしても例会に顔を出さなくちゃいけないという風  
 に考えを改めるに至った今日この頃です。

### 佐藤 聡 記念事業副部長

来週2月10日、薫小学校にて「留学生は先生」という  
 事業を開催します。講師はソヌさんとコロンビア出身の  
 会津大学の男性にお願いしています。2月17日は13時  
 半から安藤智重さんの「安積歴史入門」という本を、郡山市教育委員会  
 に寄贈する予定です。



### 幕田宙晃 幹事

5月23日の90周年の式典に東京立川RCに来て頂こ  
 うと思っていましたが、当日は親睦旅行があるので郡山  
 に来れないということで4月16日にメーキャップした  
 というお話を頂きました。11名で来て頂けるそうで、宿泊もして夜も懇  
 親を深めたいということですので、お声掛けされた方には懇親会におも  
 付き合い頂ければ幸いです。



### 出席報告 丸山 弘 委員長

総員 / 107名 出席 / 63名 欠席 / 44名  
 出席率 / 58.88% 前回修正率 / 100%  
 他クラブ出席 / 0名



## 株式会社 菅家経営センター

代表取締役 菅家 惣一郎

〒963-8861 郡山市鶴見垣 3-5-8  
 TEL 024-932-0829 FAX 024-933-0378

## 北進自動車部品 株式会社

代表取締役 菅野 秀士

〒963-8052 郡山市八山田 5-222  
 TEL 024-953-3551 FAX 024-936-3884

### 国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長：佐藤 修朗 幹事：幕田 宙晃  
 例会場：郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111  
 例会日：木曜日  
 事務所：〒963-8001 郡山市大町 1-2-17 大一ビル 1階  
 TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678  
 郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから  
<http://k-rc.main.jp/>

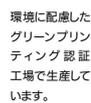


次回 第30回例会  
 令和8年2月19日(木)  
 ゲスト卓話

「郡山ロータリークラブへの防衛講話」  
 陸上自衛隊 第6高射科大隊長兼 兼 兼  
 郡山駐屯地司令 井垣健司氏

編集責任者：幕田 宙晃  
 副委員長：大谷 宏明

編集：クラブ会報委員会 委員長：酒井 良胤  
 委員：綾 哲志・伊藤 基文・八角 洋



見やすく読み  
 まちがえにくい  
 ユニバーサル  
 デザインフォント  
 を採用しています。

FSC® 森林認証紙使用